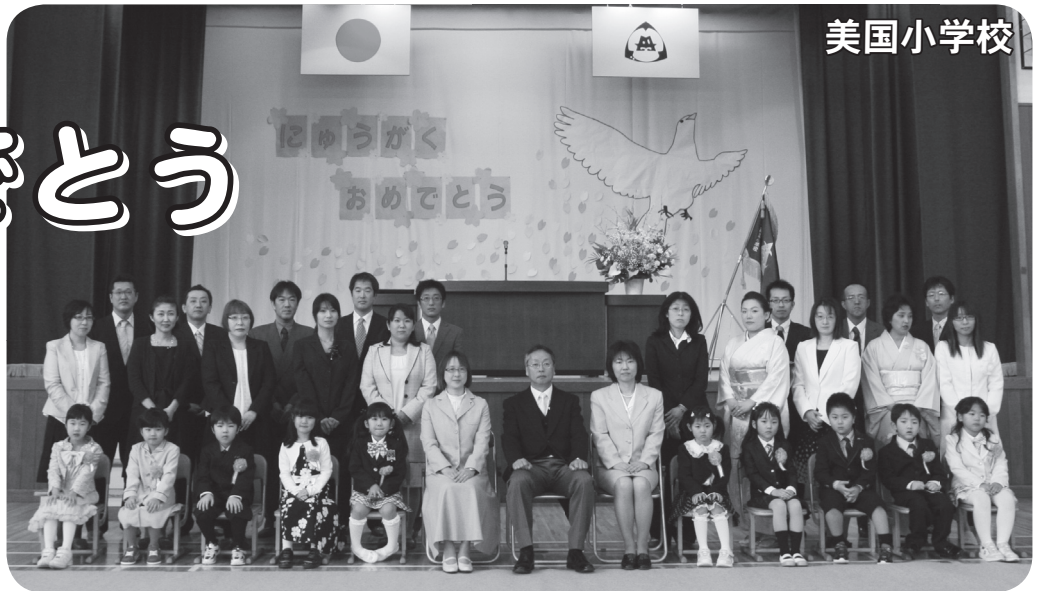


入学 おめでとう



美国小学校



美国中学校

美国小学校・美国中学校で入学式

4月7日に、美国小学校及び美国中学校で入学式が行われ、新しい生活に大きな希望と期待を抱いた計31名が、上級生や先生に温かく迎えられ、たくさん祝福を受けながら新しい学校生活をスタートさせました。

交通安全を願う36年間の活動 「商工会女性部」「愛の鈴」を寄贈

この季節は、雪解けも進み、春の行楽シーズンの幕開けとなりますが、道路状況も良くなり、スピードの出し過ぎなどによる交通事故が懸念される時期でもあります。

積丹町商工会女性部（葛西幸子部長）では、交通安全への願いを込めた「愛の鈴」と新入学児童に贈る「交通安全のお守り」を町を通じて贈っており、今年も3月27日に葛西部長、山本・河野両副部長が役場を訪れ、寄贈しました。

同会による「愛の鈴」の寄贈は昭和53年から36年間続けられており、この日は100個が松井町長へ手渡されました。

また、4月7日に行われた美国小学校入学式では、葛西会長から10名の新入生へ「愛の鈴」と美国神社で祈祷された「お守り」が手渡されました。

この「愛の鈴」による交通安全推進運動は、社会の到来により交通事故の危険性が高まった当時より全国的な運動として始まったものですが、現在も継続している団体は少数となっているようです。

入学式の中で葛西会長は「一つ編み上げるのに30分以上かかりますが、この鈴がずっと交通事故が無い積丹町であることに役立っていることが誇りです」と話していました。

このような活動が実を結び、積丹町は去る4月24日、死亡事故ゼロの日5千日を達成しました。



安全・安心の拠点として一層の活躍を 新・入舸駐在所が完成



3月19日に完成した「余市警察署入舸駐在所」の開所式が4月18日開催され、青山余市警察署長や松井町長、佐藤議長、地区の関係団体長など約20人が出席しました。

式典では青山署長のあいさつ、松井町長の祝辞に引き続き、入舸駐在所の船木渉巡査部長が「この新しい駐在所と共に未来に向けてまちの皆様と歩みながら歴史を刻んでいきたい。入舸駐在所は地域住民の安全・安

心の拠り所として、所長である私は身近な犯罪の防止や、交通事故防止に一層努め、皆様方の期待に応えていきたい」と力強く決意表明を行いました。

旧入舸駐在所は昭和60年に建築され、今回建替えとなるまでの29年間、犯罪防止や災害対応など地域に密着して私達の安全な生活を守ってきました。

新入舸駐在所は、旧入舸駐在所の隣に建設され、これからも地域の安全・安心の拠点として更なる活躍が期待されます。

4月1日付けで、美国駐在所に福田真輔警部補（38歳）が着任されました。

3月まで苫小牧警察署地域課に配属されていた福田警部補は、妻の香名子さんと2人で赴任。

今回、初めてとなる駐在所勤務に対し「町のことを少しでも早く知って、町民の皆さんの要望を聞き、この人で良かったと思っただけの駐在になりました

美国駐在所・新しいお巡りさんが着任

い。町で見かけたら気軽に話しかけて下さい。」と抱負を話してくれました。



▲ 福田 真輔 警部補

～早期完成を強く要望～ 「美国川河川改修事業」

一町長と全議員が道庁へ

3月25日、町議会議員と松井町長が北海道建設部と後志総合振興局小樽建設管理部を訪問し、美国川河川改修事業の早期完成を求める要望活動を行いました。

美国川は昭和37年と平成10年の台風及び平成22年の大雨による大水害や異常増水により、住民が自主避難を繰り返してきた経緯があり、町にとって「美国川河川改修事業」は最も急がれる防災懸案課題の一つとなっています。

河川改修工事に伴う土地・建物の移転等の関係者の皆さんはもちろんのこと、近年の異常気象による集中豪雨や融雪による増水の被害を未然に防止し、美国地区の町民の皆さんが安心して暮らせる生活環境が一年でも早く実現されることは町民共通の願いです。



一 下 出道建設部長他同部幹部職員へ要望一